

川治ダムでは洪水期の管理が始まりました

《鬼怒川4ダムは、夏期制限容量において満水状態で盛夏を迎えます》

鬼怒川上流の川治ダム(栃木県日光市)では、本日7月1日から台風等大雨に備えて洪水を貯める容量を空けておく管理を開始しました。

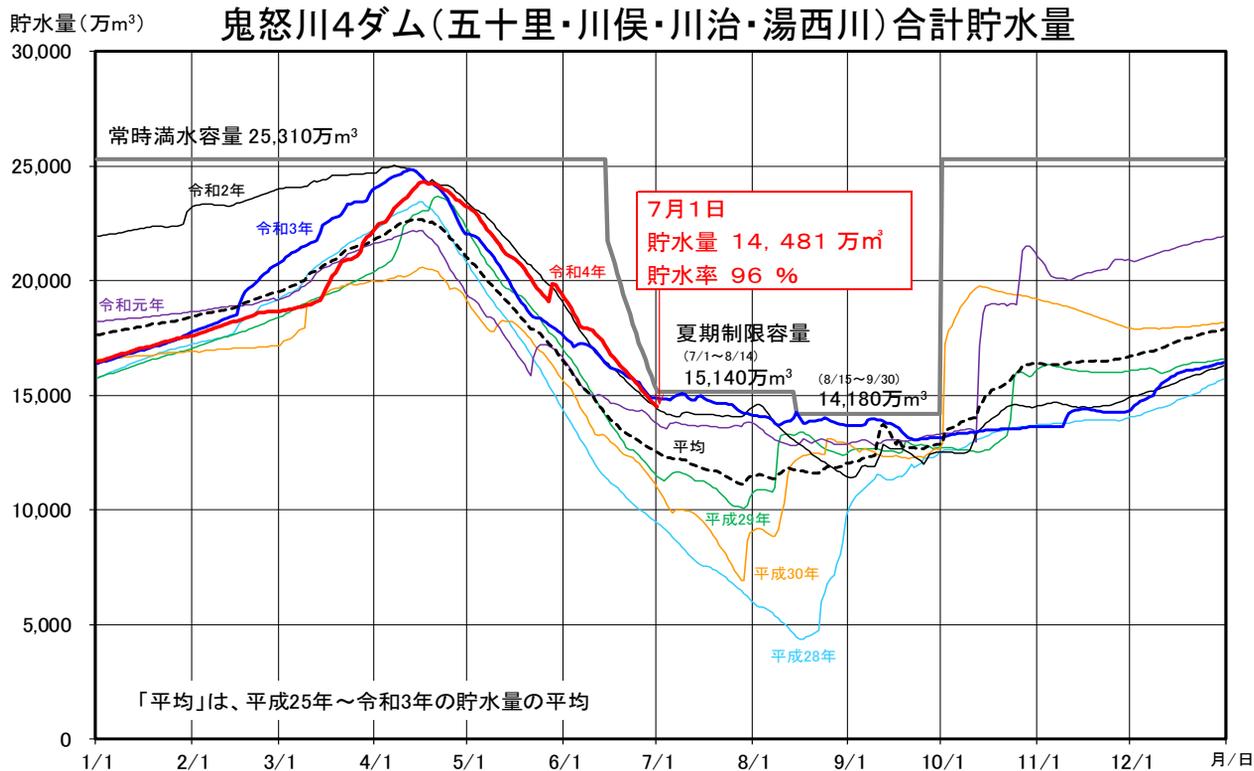
関東地方では6月27日に梅雨明けし、鬼怒川(佐貫地点上流域平均)における降水量は、月間降水量で5月が207mm(平均比170%)と多く、6月が145mm(平均比81%)と少ない状況です。

現在、川治ダムを含めた鬼怒川4ダムの貯水池は、夏期制限容量(洪水期中、利水のために水を貯めておくことができる最大の水量)において満水状態となっています。



現在の川治ダム

夏期制限水位 標高 594.00m
(利水のための最高貯水位=満水位)
7月1日0時貯水位 標高 593.64m



鬼怒川の4ダムでは、これから迎える盛夏の水需要に向けた用水供給及び、台風等大雨に備えたきめ細やかなダム操作を行ってまいりますので、節水にご協力をお願い致します。